

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

当院は昨年の9月1日に高松市民病院と香川診療所を統合移転し、開院を迎え、ここ仏生山の地で新たな一歩を踏み出す事ができました。移転作業、開院に際し、多くの医療機関の先生方、地域の住民の皆様には大変お世話になりありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

現在、開院後約4ヶ月経ったところでありますが、お陰さまで多くの皆様にご利用いただき、また地域の医療機関の 先生方には多くのご紹介を頂戴しております。新病院に寄せる皆様の期待に身の引き締まる思いであります。

病院事業管理者 (みんなの病院 院長)和田 大助

さて、新たに開院した「高松市立みんなの病院」は、従来

からの救急医療や高度ながん医療、小児・周産期医療、感染症医療、精神科医療、人間ドックや疾病予防等に加え、歯科口腔外科を新設し、さらに仏生山を中心とした高松市南部の地域で、より地域と密着した医療を提供し、高松市民がいつでも安心して暮らせるよう貢献してまいります。 医療機器については、香川県内4台目となりますPET-CTの他、最新の放射線治療装置や高性能のMRIを導入し、がん診断の精度の向上や治療において、今まで以上に高度な医療にも注力していきたいと考えております。また、地域包括ケアシステムの構築に向けては、急性期を脱した患者や、自宅や介護施設等からの緊急患者、また在宅復帰支援のための「地域包括ケア病棟」のさらなる活用と、入退院支援や在宅療養後方支援、医療福祉相談等を一元的に提供できるよう「地域医療・患者支援センター」を整備いたしました。さらに、病室の個室率を大幅に増やす等、より一層患者さんのニーズやアメニティの向上に努めてまいります。

今後、高松市立みんなの病院が、50年、100年と継続して、多くの市民から信頼され、親しまれ、質の高い医療を提供でき、文字通り高松市民のみんなの病院になれるよう、私たち職員一同、一丸となって頑張る所存ですので、本年も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

診療科紹介 整形外科

整形外科は運動器の外傷や疾患を治療する診療科です。

人間の体は内骨格としての骨組織を持ち、骨と骨をつなぐ関節、四肢や体幹を運動させる筋肉や 腱、さらにそれらを制御する神経系によって構成されています。運動器とは、これら運動に関わる全 ての器官を意味しています。交通事故や労災事故によっておこる外傷、加齢によって生じる変形性関 節症や脊椎変形、成長期に生じる様々な病態など運動器の疾患、外傷を治療しています。整形外科で行 われている手術方法、薬物療法、理学療法等の治療法は、全て科学的根拠に基づいて行われていま す。病態を分析し、様々な角度からその解決策を考え、実践し、得られた結果を解析して治療方法は 進化してきました。そのような進化した治療方法を駆使して日常診療を行っています。

整形外科スタッフ紹介

- ●長町 顕弘(副院長) 森本 雅俊(副医長)
- ●和田 一馬(副医長) 百田 佳織(医員)

大学からの派遣医師

- 第1木曜日 西良浩一教授(脊椎)
- 第1火曜日 松浦哲也特任教授(スポーツ障害)
- 第4木曜日 浜田大輔特任准教授(膝関節疾患)
- 第2·第4火曜日 殿谷一朗講師(足外科)



第3木曜日 後藤知宏講師(股関節疾患)

毎週水曜日 甘利留衣(小児整形外科)

脊椎疾患、脊椎外傷

低侵襲手術

経皮的内視鏡下ヘルニア摘出術、経皮的椎弓根スクリュー挿入術、経皮的内視鏡下椎体間固定術 など最新技術を駆使して手術治療を行っています。

頸椎疾患 🥥

後縦靱帯骨化症、頸椎症性脊髄症など頸椎の脊柱管(神経の通り道)が狭くなって脊髄が圧迫 され歩行困難や手の巧緻運動障害が生じている患者さんに対しては頸椎椎弓形成術を行ってい ます。また、頸椎椎間板ヘルニアや頸椎症性神経根症に対しては椎間関節開窓術を行っています。

胸椎疾患 🥏

強直性脊椎炎に骨折を合併したような患者さんでは放置すると麻痺が生じることがあります。 このような症例に対しては経皮的椎弓根スクリュー固定で対応しています。骨粗鬆症による脊椎圧 迫骨折に対しては経皮的椎体形成術(椎体内でバルーンを膨らませて空間を作り、骨セメントを 注入して固定する手術)を行っています。

腰椎疾患 ~

腰部脊柱管狭窄症で腰痛、下肢痛、下肢しびれ、歩行困難など日常生活に支障をきたしている 患者さんに対して手術を行っています。下肢痛は軽減し、歩行距離が伸びることによってQOLが 改善しています。また、成長期によく発生する腰椎分離症の治療も積極的に行っています。

個人を対象としたPET-CT健診を始めます。詳細はお問い合わせください。

お知らせ

問い合わせ先:高松市立みんなの病院 画像診断受付 087-813-7171 (内線1500)

診療科紹介 整形外科

変形性関節症

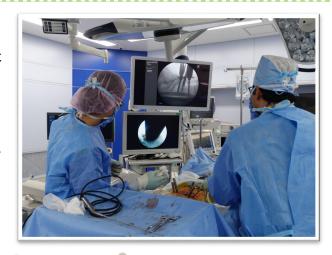
変形性股関節症に対する人工股関節置換術では前外側侵入法による低侵襲手術を行っています。 通常術後数日で歩行訓練を開始しています。 変形性膝関節症に対しても人工膝関節置換術や、 高位脛骨骨切り術を行って良好な臨床成績を 獲得しています。

スポーツ外傷

前十字靱帯損傷、野球肘、腰椎分離症などスポーツによって生じる障害の治療を行っています。可能な限り低侵襲治療法を採用して治療に当たっています。

手の外科

ばね指、手根管症候群などの変性疾患に対する手術から、労災事故などで生じた手指切断に対する再接着手術、重度外傷に対する修復術など多くの手術を行っています。



足の外科

外反母趾、三角足変形、扁平足など足の 変形に伴う疼痛に対して装具療法や手術療法 を行っています。

アキレス腱断裂に対しては手術をしないで 治療する方法も採用しています。

(文責 長町 顕弘)

開院記念コンサート

平成30年11月7日(水)みんなのホールにおいて、高松市立みんなの病院の開院を記念する行事として、患者サービス向上委員会主催の「開院記念コンサート」を開催しました。

このイベントは、平成30年度、新規に実施するホスピタルアート事業として、高松市が主催しています。市内の医療機関に音楽演奏などを出前し、患者さんやご家族が文化芸術に触れる機会を提供することにより、癒しやぬくもりを感じていただき、快適な療養環境の一助とするため実施されたものです。





旧高松市民病院で昨年7月に開催した感謝祭に続いて、今年度全3回で企画したホスピタルアート事業の第2回目として再び瀬戸フィルハーモニー交響楽団の方々をお招きして、「瀬戸フィル音楽会~弦楽八重奏とソプラノ~」と題して、コンサートを開催しました。

入院患者さん、外来患者さんやそのご家族、地域住民の 方々など約140名が会場を訪れ、よく耳にしたことのあるポピュラーなクラシック曲を中心に、弦楽8重奏団と ソプラノ声楽家による全13曲の演奏をお楽しみ いただきました。

(患者サービス向上委員会)

瓦町フラッグ8Fで健康相談を始めました

みんなの病院を、多くの市民の方に 知っていただくため、瓦町FLAG 8階で、 高松市立みんなの病院の看護師等による 健康相談を行っています。

瓦町近辺へお寄りの際には、御利用 ください。

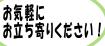
(みんなの病院 事務局総務課)

毎週水曜日(原則) 日時 午後2時30分~午後4時

瓦町FLAG 8階 場所

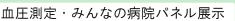
健康相談、血圧・骨密度測定 内容 各種相談 (無料)

市民交流プラザ内健康ステーション













地域まるごと医療を実践する「塩江分院」

塩江分院

【高松市民病院塩江分院基本方針】

- 1. 市民とともに「地域まるごと医療」を実践します。
- 2. おもいやりの心で「正しく良質な医療ケア」を提供します。
- 3. ファインチームワークで「感動のある病院」を実現します。

塩江分院は、高松市南部の中山間部に位置し、塩江地域唯一 の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅や地域 で、家族の負担を軽減しながら安心して療養することができる よう多職種の医療スタッフが協力して各種訪問活動により支援 に努めるとともに、地域住民に親しまれ愛される病院を目指し ています。



訪問看護



待合室での健康教室





新聞報道にありましたとおり、塩江分院は老朽化に伴い、新築移転し診療所として生まれ変わり ます。御心配をおかけしております「無床化」につきましては、新築されるまでは今までどおり 塩江分院で有床の病院として存続しますので御安心ください。

なお、高松市民病院は、新築移転に伴い「高松市立みんなの病院」に名称変更をしましたが、 塩江分院の名称は、従来どおり「高松市民病院塩江分院」のままで変更はありません。

今後ともよろしくお願いします。

(お問い合わせは ☎087-893-0031 塩江分院 事務局まで)

クリスマス会

平成30年12月21日(金)、エントランスホールにおいて、旧高松市民病院の頃から毎年12月に患者サービス向上委員会主催で開催しているクリスマス会を、仏生山町に移転後、初めて開催しました。

7月に旧高松市民病院で開催した感謝祭、11月の開院記念コンサートに続き、ホスピタルアート事業として、瀬戸内サーカスファクトリーによるサーカスパレードを今年度第3回目の事業として実施しました。

入院患者さん、外来患者さんやそのご家族、近隣 小学校の学童の子供達、約185名が会場に詰め掛け、プロのパフォーマー等によるエントランスホールの約8メートルの高さを目一杯使った足芸、ジャグリングなど、笑いと驚きが盛りだくさんの内容にサーカス気分を十分満喫いただきました。

高松市消防局救急隊との意見交換会・勉強会

(患者サービス向上委員会)



平成30年12月11日(火)に18時から約2時間にわたってみんなのホールで開催しました。この会は年に数回開催しており、救急搬送の問題点を搬送側と受入側の双方で検討することで救急受入を円滑化することを目的とし、併せて救急に関する勉強会を行なっています。今回は新病院開院後、最初の開催で、当院から医療局8名、看護局7名を含む計19名と消防局から9名が参加しました。

始めに病院事業管理者の和田より挨拶の後、自己紹介を行い、福田救急委員長から当院の救急の現況、 特に開院前後での救急搬送の変化について報告しました。続いて救急科長の大北から意識障害の搬送例に ついて症例検討が行われ、意識を失う前の状態や事故を起こしたきっかけ等の病歴聴衆の重要性について 解説と救急部門の特徴の説明を、地域医療・患者支援センターから、みんなの病院を紹介しました。

その後、意見交換では、救急隊からは、院内の移動の不便さ、医療ネットさぬきの利用度、確定診断の記入、他病院のかかりつけ患者の受入の可否、循環器疾患の対応等について質問がありました。病院側からは医療機関からの血液製剤の転送、JPTEC, JATECの院内研修への参加の可否などについての質問等、双方から様々な意見、要望がなされ、いずれも前向きに議論が行われました。

この会を始めた当初は堅苦しい雰囲気の中、互いの意見も少なめでしたが、次第に活発に言葉が飛び



交う建設的な場へと変化し、最近では救急受入率の向上も相まって前向きで意義のあるものとなってきたと感じられます。

今後もこの会を継続することで救急医療体制の改善を図ると 共に、季節の変わり目には懇親会も開き顔の見える関係を一層 強化したいと考えています。

(文責 福田 洋)

第58回 地域医療連携セミナーのご案内

日時

平成31年2月20日(水)午後7時から (1時間半の予定)

場所

高松市立みんなの病院 みんなのホール

演題

- 1 「これ喘息でしょうか?」 呼吸器内科 医長 河野 洋二
- 2 「これ肺癌でしょうか?」 呼吸器外科 医長 三﨑 伯幸

事前申し込みが必要です

- ◆ 日本医師会生涯教育制度のカリキュラムコード (79.気管支喘息 0.その他のプロセス)を 取得いただけます。
- ◆ 当日は軽食をご用意しております。

【お問合せは】 高松市立みんなの病院 地域医療・患者支援センター セミナー担当者 まで

『医療・介護関連施設職員研修会』開催

第56回

日 時:平成30年11月22日(木) 14:00~15:00

テ - マ:「食べない、食べれない、足りてない?」

・講演とグループディスカッション

・栄養補助食品の試食

担 当:NST(栄養サポートチーム)

参加人数:39名

ご参加ありがとうございました

日 時:平成30年12月13日(木) 14:00~15:00

テ 一 マ:「肺音(聴取)種類、肺音聴取のポイント」

+「スクイージング」

担 当:慢性呼吸器疾患看護認定看護師

佐藤 静香

参加人数:27名



研修会等の年間予定表・申込用紙は病院ホームページからもダウンロードいただけます http://www.takamatsu-municipal-hospital.jp



FAX予約をお願いします

患者さんをご紹介いただく際に、<mark>地域医療・患者支援センターへ</mark> 事前にFAX予約をお願いいたします。

「高松市立みんなの病院FAX診療申込書」をご利用ください。



受付時間 平日(月~金)午前8時30分~午後6時00分

電 話 (087)813-7171(代表)/(087)813-6699(紹介予約専用)

´ A X (087)813-6799(直通)

0120-834-224(フリーダイヤル ()

※フリーダイヤルは県内固定電話のみ対応しております